

平成 28 年度 第 15 回柿崎区地域協議会次第

日時：平成 29 年 3 月 21 日（火）午後 6 時 30 分

場所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 新上越斎場建設事業について

…[資料No.1]

5 協議事項

(1)柿崎区地域協議会の平成 29 年度事業計画（案）について

…[資料No.2]

(2)自主的に審議する事項について

- ・頸北斎場の存在意義について
- ・柿崎区保育園にかかる課題と今後について（継続審議事項）

6 報告事項

(1)市からの報告

- ・市指定ごみ袋の一部の不具合について …[資料No.3]
- ・バス路線の再編による上下浜駅線と吉川西部循環線の統合について …[資料No.4]
- ・平成 29 年度柿崎区における主な事業について …[資料No.5]

7 その他

- ・次回（平成 29 年度第 1 回地域協議会）の開催日について

日 時：平成 29 年 月 日（ ） 時 分～

会 場：

8 閉 会

新上越斎場建設事業について

1 柿崎区、大潟区、吉川区の各地域協議会との協議状況

新上越斎場の建設に向けて、本年1月・2月に柿崎区、大潟区及び吉川区で開催された地域協議会の会議において、以下のテーマ（別添の資料1・2）により、説明と意見交換を行なった。

○ 第1回

- ・ テーマ「火葬場施設（建築物）及び火葬炉設備の更新時期について」
- ・ 開催日：柿崎区 1/17、大潟区 1/26、吉川区 1/27

○ 第2回

- ・ テーマ「斎場の市民への影響について」
- ・ 開催日：柿崎区 2/14、吉川区 2/16、大潟区 2/25

2 各地域協議会における主な意見

- 近隣の頸北斎場が廃止されると、今よりも不便になる。また、葬儀に関連する日程や慣行などへの影響も懸念される。
- 頸北斎場の廃止が前提にあり、今後の在り方についての説明や議論が充分行われていないのではないか。
- 新上越斎場の建設には異論ないが、頸北斎場について今後の在り方を示してほしい。

3 頸北斎場に関する今後の対応方針

- 新上越斎場建設事業と頸北斎場の今後の在り方については、別の問題として切り離して検討する。
- 頸北斎場については、適正な施設管理の下で更新時期を迎えるまでの間は、維持管理に努め運営する。

4 地域協議会への説明

- ・ 3月1日に頸北3区の地域協議会の正・副会長に対応方針を説明した。
- ・ 3月に開催の頸北3区の地域協議会において、同様の説明を行う。

柿崎区地域協議会の平成 29 年度事業計画 (案) について

3月8日(水)に地域協議会全員協議会を開催し、柿崎区地域協議会の平成29年度事業計画について協議した。

1 協議結果 (概要)

(1)移動巡回型地域協議会及び地域の皆さんと地域協議会委員の懇談会について

- ・懇談会のみを単独開催する。
- ・6地区(柿崎、七ヶ、正直、川西、下黒川、黒川・黒岩)で開催する。
- ・6、7月の2か月間で開催する。
- ・地域協議会の役割や懇談会開催の目的を説明する時間を十分に設ける。
- ・懇談会開催前に町内会長連絡協議会役員との意見交換を実施する。
- ・実行委員会を組織し、8名の委員(小出副会長、薄波委員、金子委員、佐藤委員、白井委員、新部委員、楡井委員、渡邊委員)を選出。
- ・内容や周知方法、検討テーマ等は今後実行委員会において協議する。

(2)まちづくりフォーラムについて(地域活動支援事業成果報告を含む)

- ・今年度開催のまちづくりフォーラムと同様に地域活動支援事業採択団体からの成果報告と講師による講話の内容で開催する。
- ・2月下旬の開催を予定。

(3)自主的に審議する事項について

主な意見

- ・自主的に審議する事項とすべき議題を見つけるため、まちづくり振興会や観光協会等の各種地域団体との意見交換会を開催すべき。
- ・平成29年度は各種まちづくり団体との交流を図り、意見を吸い上げたい。

(4)各検討委員会について

主な意見

- ・平成26、27年度に設置した3部会(総務・地域振興部会、産業振興部会、教育・福祉部会)のように、分野ごとに地域課題を検討する部会を設置すべき。
- ・平成26、27年度に設置した部会は、それぞれのテーマが広すぎて議論が深められなかったため、協議テーマを絞って部会を設置すべき。

(5)自主研修と頸北地区地域協議会委員合同研修会について

①自主研修

- ・今回(3月21日開催)の地域協議会で内容を協議する。

②頸北地区地域協議会委員合同研修会

- ・9月下旬頃の開催を予定。
- ・研修内容等は今後検討する。

2 その他全員協議会で委員から挙げられた意見

○地域活動支援事業採択事業のその後の状況確認について

- ・地域活動支援事業に採択した事業は、団体が提出する報告書や成果報告会で実施内容を確認しているが、翌年以降の状況を確認していない。各事業が、どのように管理されているかの現状を確認すべきではないか。

○若い世代からの意見を集約する方法について

- ・移動巡回型地域協議会において、小学生の保護者からいつでも意見が出せる意見箱の設置の提案があったが、若い世代からの意見を吸い上げるためにどうしたらよいか。
(例えば SNS の活用)

○観光資源の活用について

- ・柿崎には城跡がいくつもあり、これらの整備が観光の目玉になると思う。

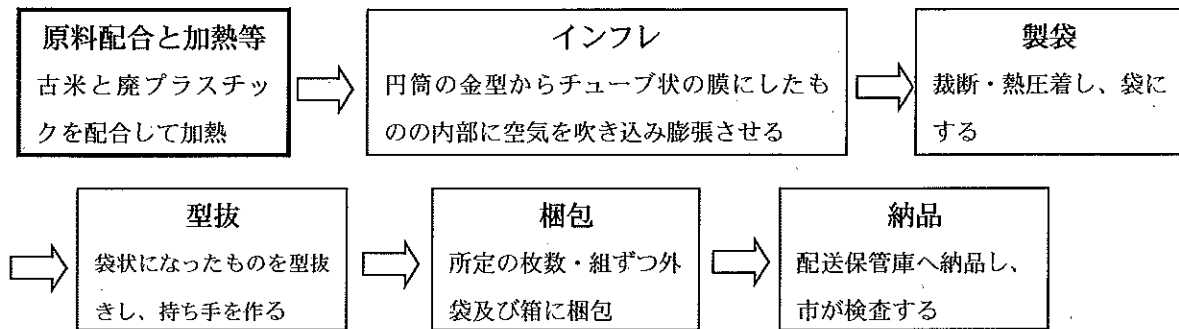
※平成 28 年 12 月及び平成 29 年 2 月の厚生常任委員協議会資料から抜粋

市指定ごみ袋の一部の不具合について

1 不具合の発生原因

- ・市指定ごみ袋（燃やせるごみ、生ごみ）は、食用に適さない古米、碎米、米ぬかなどの米穀系原料に、廃プラスチック及びポリエチレンを混練したバイオマスプラスチックで作製している。
- ・米穀系原料は、収穫や流通状況などの状況により、品目や種類が変動することがあるため、原料の配合状況に合わせてポリエチレンの量を調整し、加熱する工程を経て、素材シートを作製する。
- ・不具合品は、平成 28 年 3 月から 5 月における作成工程において、その調整が不十分で、一部の強度の弱い素材が作製されたため生じたもの。

2 指定ごみ袋（燃やせるごみ・生ごみ用）の作製工程



※太枠内の過程で調整が不十分だったことが原因

3 現在の対応状況

(1) 不具合品の交換対応

不具合品現品が手元にある方を対象に、販売店、製造事業者及び市が交換に応じている。

対応窓口	対応内容	交換数 (H29.1.31現在)
販売店	レシートと現物を確認し個別に交換	538組
製造事業者	市民からの連絡や持込みを受けて個別に交換 (交換の際に氏名・住所・購入時期・購入店名等を確認)	1,131組
生活環境課、 総合事務所		437組
合計		2,106組

※ 不具合品現品の残枚数が 10 枚未満であっても、良品 1 組（10 枚入り）単位で交換している。

※ 販売店在庫の回収分（約 40,000 組）と個別交換分（2,106 組）は、すべて製造事業者が負担し良品を補填している。

※ 柿崎区総合事務所での対応（交換）実績…18 件（H29.3.17 現在）

(2) 再発防止策等

① 製造段階における改善策（実施済み）

- ・原料配合に合わせた調整と点検の徹底、原料配合を変更した場合のサンプル品の事前提出の義務付け
- ・完成品を実際に広げて使用に耐え得る状態かどうかを確認する官能検査（実際の使用を想定し、「袋を膨らませる」「持ち手部分を持って外側へ引っ張る」など）を追加
- ・完成品の性能評価検査の実施回数を、これまでの契約ごと（3か月に1回）から納品ごと（毎月1回）に増やすとともに、検査対象品目を燃やせるごみと生ごみ用の各1種類の抽出実施から、全7種類の抽出実施に拡大

② 市の検収段階における改善策（実施済み）

- ・納品時の検収項目にも官能検査を追加

③ 不具合品発生時に備えた改善策（新年度発注分より実施予定）

- ・製造時期を外袋へ表示
- ・問い合わせ先を、これまでの外袋に加え、個別の袋にも表示

4 周知及び今後の対応

(1) 広報上越とホームページによる周知

広報上越2月15日号及びホームページにおいて、不具合品発生についてお詫びするとともに、交換対応について周知し家庭での買い置き分についての確認と交換を促す内容を掲載。

(2) 現品が手元がない方への対応と実施事業について

- ① 現品が手元がない市民への対応を求める意見があるものの、不具合品を購入した事実を過去に遡って確認することは極めて難しいこと
- ② 現品を持たない方からは、テープなどで補修しながらも使い切ったという声も多く、不具合品の多くが本来の用途であるごみ袋として使われたと推察されること
- ③ 一方、「指定袋を二重にした」、「ごみ出しを小分けにした」、「破れた袋を一部廃棄した」との声もあり、ごみ袋として使用できなかった分のごみ処理手数料が市の歳入になったと考えられるが、その額の推計は困難であること

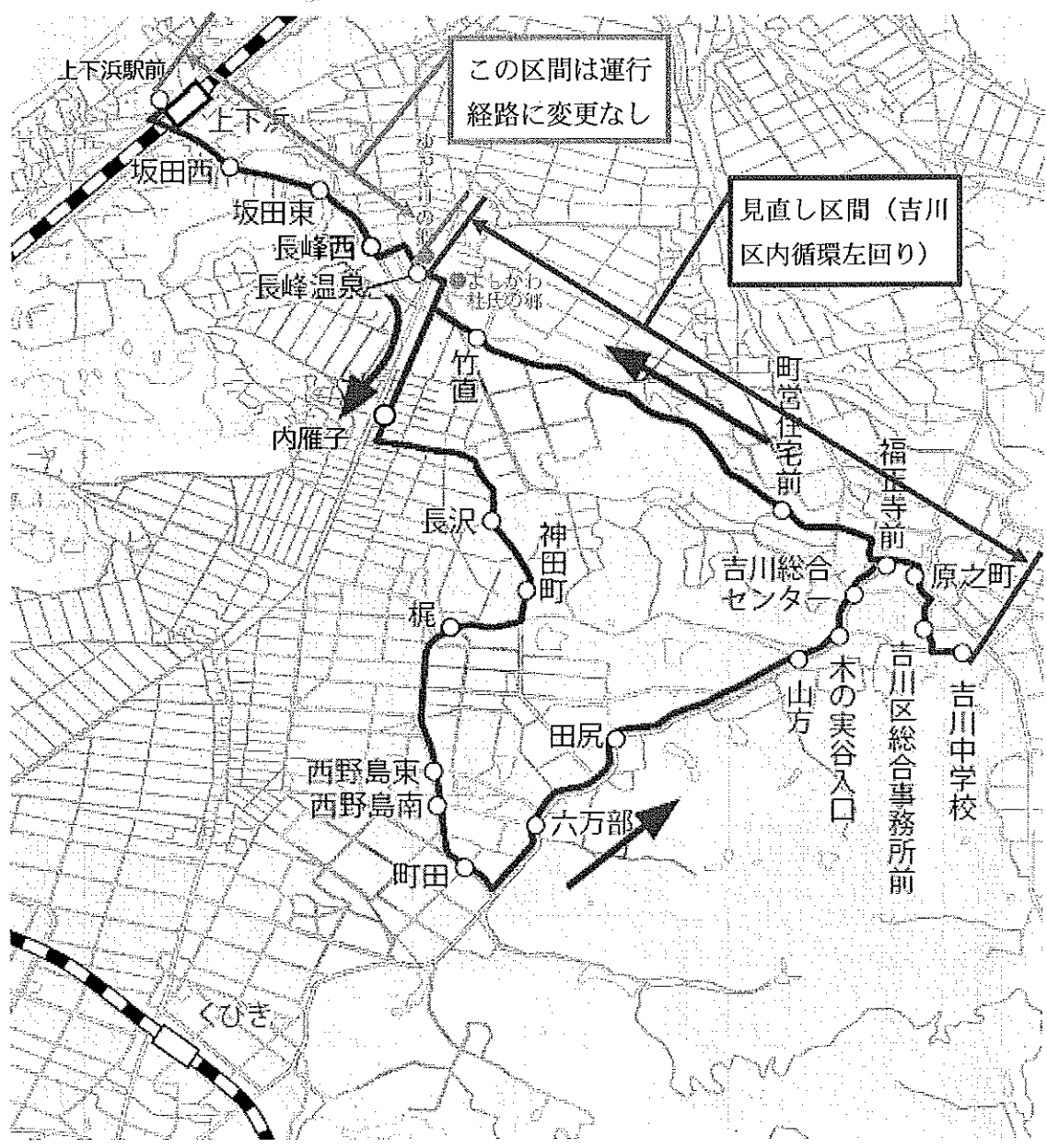
↓ このような状況を踏まえ、

◎ ごみ処理手数料を財源として実施している、子育て世帯へのごみ袋支援制度を拡充する。

内 容：子育て支援として無償配布している「おむつ用ごみ袋引換券」のサイズを、100から200に拡大する。

実施時期：平成29年度から

上下浜駅線と吉川西部循環線が統合し、吉川西部 循環線（上下浜駅前経由）と名称が変更されます。 （平成 29 年 4 月 1 日（土）から）



平成29年度 柿崎区における主な事業

I 暮らし ～暮らしの安心感を高める“つながり”の構築～

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
1	公立保育園運営費	市民生活・福祉G	保育課	16,622
	<p>園児が安全・安心して保育を受けられるよう、保育サービスの充実及び環境整備等を行う。</p> <p>○通園バス運行業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行業務委託 ・通園バス維持管理 <p>○主な修繕及び備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一保育園：屋外遊具の移設、給湯器・換気扇修繕、業務用換気扇2台修繕 ・第二保育園：医務室エアコン入替、調理室トイレシンク取替、調理室棚・扉修繕、電気式消毒保管庫入替 ・上下浜保育園：園舎前側溝の蓋入替、調理室網戸付替、未満児用テーブル購入 ・下黒川保育園：玄関ポーチ及び階段滑止マット修繕 			
2	小・中学校市単独事業	教育・文化G	教育総務課	11,055
	<p>児童・生徒の安全・安心を確保するとともに、快適な教育環境の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柿崎小学校校：校舎棟の雨漏り改修 ・上下浜小学校：下水道接続工事設計委託 ・下黒川小学校：ランチルーム床改修(178.3㎡) ・柿崎中学校：校舎前棟北面窓サッシ改修 			
3	小・中学校大規模改造事業	教育・文化G	学校教育課	197,546
	<p>経年劣化した施設・設備を改善し、教育環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柿崎小学校：トイレ改修(児童1～3階、職員用、体育館) ・柿崎中学校：体育館屋根、外壁改修 			※H29年3月補正
4	スクールバス更新事業	教育・文化G	学校教育課	22,173
	<p>大型スクールバスを更新する。納車は平成29年5月を予定(平成28年度に契約済み)</p>			
5	地域支え合い事業	市民生活・福祉G	高齢者支援課	3,725
	<p>平成27年度にスタートした65歳以上の人に参加できる「通いの場(すこやかサロン)」等を開催し、事業の運営を担う住民組織とともに高齢者の支え合い体制を整え、「出前サロン」など地域の実情に合わせた介護予防に継続して取り組む。</p>			
6	地域活動支援事業	総務・地域振興G	自治・地域振興課	7,200
	<p>地域における課題の解決を図り、それぞれの地域の活力の向上を図るため、市民の皆さんが自発的・主体的に行う地域活動に対して支援を行う。</p> <p>■平成28年度実績 14事業 7,260千円を補助(予算額7,300千円)</p>			

I 暮らし ～暮らしの安心感を高める“つながり”の構築～

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)																
7	地域おこし協力隊の導入	総務・地域振興G	自治・地域振興課	7,991																
	<p>総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、地域外の人材を新たな担い手として受け入れ、3年後の定住・定着とともに地域の維持、更なる活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柿崎区中山間地域農業振興会の11集落に2人受け入れ予定 ・活動範囲：東横山、南黒岩、北黒岩、松留、上中山、猿毛、水野、下牧、平沢、芋島、米山寺 ・平成28年10月1日 ガルシア バランコ エミリオさんを採用 ・協力隊員の活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ①農業振興支援 <ul style="list-style-type: none"> ➢農作業と米販売 ➢特産品の採取や栽培、加工、販売等 ②地域振興支援 <ul style="list-style-type: none"> ➢地域おこしイベント開催支援や地域団体活動への参加・協力 ③生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ➢道普請、用水普請、祭り準備など集落の共同作業の手伝い ・地域おこし協力隊1人を随時募集中 ・PR方法 <ul style="list-style-type: none"> ➢地域の皆さんと新農業人フェアや地域おこしフェアに参加し、PRを行う。 ➢現地見学会、農業体験等の希望者を随時受け入れる。 																			
8	集落づくり推進員	総務・地域振興G	自治・地域振興課	17,756																
	<p>集落づくり推進員が、集落を巡回し集落の将来像を考える話し合いの働きかけなどを実施するとともに、話し合い等により把握した課題の解決に向けて、総合事務所の集落支援担当者と連携して支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象集落：高齢化率がおおむね50%以上の集落 東横山、南黒岩、北黒岩、芋島、松留、猿毛、城腰、水野、下牧、上中山、米山寺、雁海、下中山、小萱、坂田新田、(平沢) 			※予算額は市全体分																
9	中山間地域支え隊事業	総務・地域振興G	自治・地域振興課	303																
	<p>企業や学校等の協力を得てボランティアの派遣を行い、中山間地域集落において不足する労力を補完し、安全・安心な暮らしを確保するとともに、市民全体で中山間地域の公益的機能を支えていくための意識を醸成する。</p> <p>■平成28年度実施内容</p> <table border="0"> <tr> <td>7月9日(土)</td> <td>イノシシ対策の電気柵の設置作業</td> <td>水野</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>7月30日(土)</td> <td>猿毛「川遊び」イベント運営の手伝い</td> <td>猿毛</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>11月5日(土)</td> <td>イノシシ対策の電気柵の取り外し作業</td> <td>東横山</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>11月27日(日)</td> <td>イノシシ対策の電気柵の取り外し作業</td> <td>水野</td> <td>2人</td> </tr> </table>			7月9日(土)	イノシシ対策の電気柵の設置作業	水野	1人	7月30日(土)	猿毛「川遊び」イベント運営の手伝い	猿毛	4人	11月5日(土)	イノシシ対策の電気柵の取り外し作業	東横山	2人	11月27日(日)	イノシシ対策の電気柵の取り外し作業	水野	2人	※予算額は市全体分
7月9日(土)	イノシシ対策の電気柵の設置作業	水野	1人																	
7月30日(土)	猿毛「川遊び」イベント運営の手伝い	猿毛	4人																	
11月5日(土)	イノシシ対策の電気柵の取り外し作業	東横山	2人																	
11月27日(日)	イノシシ対策の電気柵の取り外し作業	水野	2人																	
10	集落づくりアドバイザー事業	総務・地域振興G	自治・地域振興課	321																
	<p>集落や地区の課題解決に向けた話し合いを促進するため、専門的な知見を有するアドバイザーの派遣を行う。</p> <p>■平成28年度実績</p> <p>平成29年1月15日、「地域おこし協力隊とともに農業の活性化を」をテーマに黒岩地区が研修会を開催し、エミリオ隊員から地域おこし協力隊になった動機や3か月余りの活動状況を聞き、黒岩地区の農業の活性化に向け有意義な研修となった。</p>			※予算額は市全体分																

I 暮らし ～暮らしの安心感を高める“つながり”の構築～

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
11	柿崎区地域振興事業	総務・地域振興G	自治・地域振興課	5,925
	<p>柿崎区の地域振興と活性化を図るために実施される各種のイベントに補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お引き上げ商工まつり：3,418千円 親鸞聖人の遺徳を偲んで行われる伝統のまつり。浄福寺境内や住吉町・旭町通りを中心に約130店もの露店が連なり、民謡流しやキャラクターショー等を開催。 ・柿崎時代夏まつり：1,694千円 上杉謙信公の四天王の一人、柿崎和泉守景家公を称え開催される夏まつりとして、地域住民の手づくりによる山車、みこしパレードが繰り広げられるほか各種イベントを開催。 ・柿崎区産業まつり：150千円 柿崎区内における農業者をはじめ林業・水産・商工業者が一堂に会して、地場製品の紹介と展示・即売や体験イベント等を開催。 ・地域資源活用等推進事業：628千円 若年層や墨田区との交流活動事業、地産地消事業、柿崎区内探訪等のまちづくり資源を知る活動への補助金。 ・東京柿崎会等：35千円 東京柿崎会総会の出席 			
12	道路整備事業	建設G	道路課	3,344
	<p>市民生活の安全、利便性の向上と生活環境を確保するため、生活関連道路を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路測量設計L=20m（坂田村中線） 			
13	柿崎区道路維持費	建設G	道路課	42,985
	<p>道路損傷箇所の修繕のほか、道路清掃、除草等の実施により、一般交通に支障のないよう、市道を維持管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設管理委託 ・外側線修繕 ・小修繕工事 			
14	除雪費	建設G	道路課	56,680
	<p>冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、適切な除排雪作業を行い、車両や歩行者の通行が可能な状態を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸与除雪車維持管理費（貸与車両15台） ・市道除排雪委託（除雪延長129.20km） ・気象観測委託（3箇所） ・施設管理費等 			

I 暮らし ～暮らしの安心感を高める“つながり”の構築～

事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
15 消融雪施設管理費	建設G	道路課	1,052
消雪パイプや流雪溝など消融雪施設の適切な維持管理を行い、車両や歩行者の通行が可能な状態を確保する。 ・消雪パイプ維持管理費(延長1.63km) ・消雪パイプ修繕			
16 公共下水道整備事業	建設G	下水道建設課	234,617
汚水を処理し衛生環境の改善を図るため、下水道整備を行う。 ・上下浜地区 汚水管渠工事 φ150mm L=280m 【平成28年11月補正分(平成29年度へ繰越)】 ・上下浜地区 汚水管渠工事 φ150mm L=531m			
17 上越市住宅リフォーム促進事業	建設G	建築住宅課	102,028
地域経済の活性化と住環境の改善を図るため、自ら所有し、かつ居住する住宅を市内の施工業者等により、リフォーム工事を行った場合に、その工事費の一部を補助する。 ■柿崎区H28年度実績：77件 7,117千円			※予算額は市全体分
18 町内会集会場設置等補助金	総務・地域振興G	共生まちづくり課	180
町内会館の修繕に係る補助金(坂田新田) ・事業費 50万円以上 ・補助額 事業費の25% ・限度額 250万円			
19 防犯灯LED化推進事業	総務・地域振興G	市民安全課	23,400
町内会が管理する防犯灯のLED化を推進するため、LED化に要する費用の一部を補助する。 ・1灯当たり 補助率 1/3 補助限度額 1万円 ■柿崎区平成28年度実績(平成29年3月7日現在) 町内会数：26 町内会 設置数：274 灯 補助金：2,217 千円			※予算額は市全体分
20 消防施設整備事業	総務・地域振興G	危機管理課	1,975
消防活動のために必要な消防車両や資機材及び水利のほか、消防器具置場の更新、整備を行う。 ・地上式消火栓新設(芋島地内)1,975千円			
21 消防施設管理事業	総務・地域振興G	危機管理課	1,686
消防活動が迅速かつ確実に行えるよう消防器具置場、消防車両、小型動力ポンプ、消防水利などの施設及び備品を適切に維持管理する。			

I 暮らし ～暮らしの安心感を高める“つながり”の構築～

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
22	柿崎区農村公園管理運営費	産業G	農林水産整備課	507
	安全で快適な公園環境を維持する(七ヶ、下黒川、黒川) 平成27年度まで指定管理であったが、平成28年度から市の直営とし、地元と協働管理事業協定を締結して効率的な管理を行う。具体的には地元に草刈等の管理をお願いし、賃金を支払う(経費の1/2)			
23	柿崎区公園管理費	建設G	都市整備課	1,672
	利用者が快適に利用できるよう、都市公園の維持管理を行う。 ・あけぼの公園 ・住吉公園			
24	柿崎コミュニティプラザ管理運営費	総務・地域振興G	自治・地域振興課	18,676
	上越市コミュニティプラザ条例に基づき、地域住民による自主的・自立的な地域づくり活動の拠点として利用できる施設の提供と適切な維持管理を行う。 ・施設：ホール、多目的ルーム、和室、会議室、キッズルーム、市民活動室			
25	かきざき福祉センター管理運営費	市民生活・福祉G	福祉課	11,739
	「地域福祉の拠点」として、地域支え合い事業の参加者や地域福祉団体等の方々が、安全・安心して利用いただけるように適切な管理運営を行う。 ○主な修繕 ・空調設備更新工事(全館) ・生きがい支援室の畳表替 ・玄関ホール照明器具取替			
26	頸北斎場管理運営費	市民生活・福祉G	健康づくり推進課	29,116
	頸北斎場の適正な維持管理に努め、安定的な運営を行うための保守点検及び施設設備の修繕を行う。 ○主な修繕 ・火葬炉主燃焼室及び再燃焼室耐火物修繕 ・火葬炉誘引排風機部品交換修繕 ・火葬炉集塵フィルター交換修繕			
27	公民館修繕工事	教育・文化G	社会教育課	13,577
	・地区公民館：非常灯交換工事 ・川西分館：下水道接続工事 ・下黒川分館：屋根葺替え工事			
28	体育施設修繕工事等	教育・文化G	体育課	24,700
	・柿崎総合体育館：ガスメーター周り配管修繕 空調機給気用塩害フィルター入替修繕 ・旧上中山体育館：解体撤去工事			

I 暮らし ～暮らしの安心感を高める“つながり”の構築～

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
29	海岸一斉清掃	市民生活・福祉G	生活環境課	2,363
	<p>柿崎区の海岸の環境美化・保全を図るため海岸一斉清掃を実施する。町内会等ボランティアが収集したごみ等は、重機を使い収集運搬し、処理施設において処理する。</p> <p>・実施日：7月2日（日） 予備日：7月9日（日）</p>			

Ⅱ 産業 ～地域の元気と働きがいを生む産業の創出～

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
30	柿崎農業構造改善センター管理運営費	産業G	農村振興課	877
	<p>農産物加工による地場農産物の消費拡大を図る。 農産加工室利用の受付・鍵管理・定期的な清掃は、円滑な運営を行うため業務を委託する。 平成28年度に設立された利用組合が自立できるよう、支援するとともに関係団体と協議を進める。</p>			
31	中山間地域等活性化事業	産業G	農業振興課	35,641
	<p>生産性向上等が困難な中山間地域における農業の確立と地域資源の利活用等を通じて農業、農村の活性化を図るため集落共同活動を支援する。 平成27年度からの第4期対策では、集落協定を広域化し広域加算や超急傾斜加算を活用して、担い手確保や地域の活性化に取り組んでいる。 ・中山間地域等直接支払交付金 水野集落協定はじめ11集落4協定</p>			
32	多面的機能支払交付金	産業G	農林水産整備課	84,383
	<p>農業の多面的機能を支える地域活動や地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する。 ○多面的機能支払補助金 川西地区はじめ42集落20活動組織 ・農地維持支払 ・資源向上支払（共同活動） ・資源向上支払（長寿命化活動） ※予算は平成28年度実績と同額を見込む。</p>			
33	県営農地環境整備事業（水野・下牧地区）	産業G	農林水産整備課	13,900
	<p>区画整理、農道、用排水路整備を一体的に行い、中山間地域における営農条件の改善を図り、農業農村の活性化、定住化を促進する。 ・予定事業期間 平成26年度～平成31年度 ・受益面積19ha、区画整理13ha、用排水施設4箇所、農地保全0.2ha ・平成29年度事業費 139,000千円（市負担割合：市10%）</p>			

Ⅲ 交流 ～交流圏の拡大をいかした豊かさの向上～

	事業	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
34	柿崎区観光振興対策事業	産業G	観光振興課	3,554
	柿崎観光協会と連携し、柿崎の観光資源の発掘を行うとともに、柿崎区の観光振興を図り観光施設への誘客、各種イベントへの集客を図る。 ・柿崎観光協会への補助金 ・米山登山ガイド研修業務委託 ほか			
35	柿崎区観光施設等整備事業	産業G	観光振興課	13,843
	観光施設の維持管理や整備を適切に行い、利用客の満足度を向上させ、交流人口の拡大とリピーターの増加を図る。 ・米山山頂避難小屋外壁修繕工事 ・しらば避難小屋外壁修繕工事 ほか			

平成29年度 地域活動支援事業におけるスケジュール

項 目	期 日
① 説明会（活動報告時）	2月26日（日）
② 支援事業相談	3月 1日（水）～31日（金）
③ 募集要項の配布	予算成立後
④ 事業の募集期間	4月 3日（月）～21日（金）
⑤ 提案書の配布	4月24日（月）
⑥ 基本審査及び地域自治区の採択方針の審査、 意見交換会（地域協議会開催）	4月28日（金）
⑦ 質問の提出期限	5月 1日（月）
提案団体に質問事項の送付	5月 2日（火）
提案団体から回答期限	5月 8日（月）
質問回答集の送付	5月 9日（火）
⑧ プレゼンテーション（地域協議会開催）	5月12日（金）
⑨ 採点票提出	5月15日（月）
⑩ 正副会長会議	5月16日（火）
⑪ 採択決定（地域協議会開催）	5月19日（金）～26日（金）